

平成25年度（公財）松山観光コンベンション協会

事業報告

I. 事業概要

平成25年度は、当協会が「公益財団法人」としての2年目であり、前年に引き続き公益財団法人としての使命と社会的責任を自覚し、高い公益性を発揮しながら、まちの魅力である「光」を発信し、観光・物産・コンベンションの振興を図り、松山市・愛媛県の経済活性化により一層努めることを目標に活動を実施しました。

観光面におきましては、「瀬戸内・松山構想」を掲げる松山市と連携を図りながら、2014年の道後温泉本館改築120周年および道後オンセナート2014、また瀬戸内しまのわ2014など、県内外の様々な方面にFacebook等を活用して、最新の観光情報の発信に努めました。また、松山神輿を基軸とし、松山ならではの伝統文化を全国に発信していく「大神輿総練」をさらに魅力溢れる内容に発展させていくために協力したほか、松山マドンナ大使による観光PR活動や、観光客の受け入れとして「観光ボランティアガイド」によるおもてなしの心を持った主要観光施設（松山城・道後温泉）などの案内を行いました。

物産面におきましては、初の試みとして大阪（愛媛県大阪事務所）やTBS赤坂サカスにおいてミニ物産展を開催するとともに、札幌の東急百貨店において15回目となる「物産と観光展」を実施いたしました。また、松山ブランドを推進しつつ、「食」の充実を図るための飲食店MAPの作成や当協会ホームページのネットショッピングを通して、全国に向け松山の特産品等の情報発信及び販路の拡大を図りました。

コンベンション事業におきましては、ユニークベニユーの試みとして「地元誘致懇談会」を初めて松山城本丸広場において開催し、地元コンベンション主催者と賛助会員との情報交流の場を設け松山の魅力PRに務めたほか、県外への誘致活動においては、ターゲットを絞り、より効率的な誘致および情報提供を行いました。さらに、キーパーソンを招聘するなど、都市間競争に負けないように活動の強化を図りました。

また、国際交流事業として、広島と連携して韓国インバウンド誘致事業を実施。さらに台湾においては観光キャンペーン及び物産PR事業を開催したほか、市政府関係等の招聘などを実施し海外からの誘客に努め、10月には念願であった「台北・松山～愛媛・松山」の夢の懸け橋を実現しました。

各事業の詳細につきましては、別紙のとおりです。

Ⅱ. 公益目的別事業報告

1. 観光・物産振興事業（公益目的事業1）

（1）「おいでんか松山」観光客誘致促進事業

旅行会社が松山市へ観光客を送客する団体及び個人・小人数向けの旅行商品を企画し、新たなパンフレット等を作成して販売促進活動や販売を行う場合、その経費の一部を助成する。また、平成25年度から団体商品及びWEB商品を企画・販売し、松山市へ送客を行った業者に対しても助成を開始した。（業種50音順）

＜パンフレット商品＞

- ① 宇和島運輸株
- ② ㈱近畿日本ツリスト中国四国中国四国メイトセンター
- ③ ㈱ジェイティービー西日本国内商品事業部中国四国商品企画販売部
- ④ 瀬戸内海クルーズ株
- ⑤ トップツアー(株)関西国内旅行センター
- ⑥ トップツアー(株)九州国内旅行センター
- ⑦ トップツアー(株)中央国内旅行センター
- ⑧ トップツアー(株)中四国国内旅行センター
- ⑨ ㈱日本旅行赤い風船九州事業部
- ⑩ ㈱日本旅行赤い風船西日本事業部
- ⑪ ㈱日本旅行赤い風船西日本事業部広島企画センター
- ⑫ ㈱農協観光愛媛支店 ⑬ ㈱リゾートヘルパーサービス（13業者）

販売店舗数 延べ7,727店／印刷部数 670,000部

〔参考〕	平成23年度送客実績	55,793名
	平成24年度送客実績	50,837名

＜団体向け商品＞

- ① トップツアー(株)札幌支店

＜WEB商品＞

- ① 楽天トラベル株
- ② ㈱リクルートホールディングス



（2）松山マドンナ大使関連事業

2013年度 松山マドンナ大使委嘱式

期 日 平成25年4月1日（月）
 場 所 （公財）松山観光コンベンション協会
 年間派遣件数 61件（延べ人数 176名）

（松山マドンナ大使2013）



2014年度 松山マドンナ大使選考会

期 日 平成25年12月14日(土)

応募者 41名

場 所 松山市総合コミュニティセンター

(3) 観光PR事業(新聞・テレビ・雑誌・車輦等によるPRおよびイベント)

① 広告宣伝関連

ア 週刊「観光経済新聞」掲載観光広告 外

イ 愛媛FC及び愛媛マンダリンパイレーツの試合会場への広告掲載

ウ 愛媛マラソン手荷物預り袋への広告

② イベント関連

ア 大神輿総練

期 日 平成25年9月29日(日)

場 所 城山公園(松山市堀之内)

内 容 市内の神輿による「かき比べ」を行うことで、松山市の伝統文化である松山の神輿を全国にPRし、松山の魅力を発信する事業に協力した。今回は、神輿31体が参加したほか、水軍太鼓の演奏、野球サンバ「MOGA」の踊り、「琉球国祭り太鼓」の演奏や、「大可賀獅子舞×鼓組」の演舞が披露された。さらに松山市外からは、宇和島の「牛鬼」が2体と、初参加となる新居浜の太鼓台が力溢れるパフォーマンスを披露した。また、新たなにぎわいづくりとして、ふれあいステージを設け、「愛の葉ガールズ」によるダンス披露やじゃんけん大会などを実施し、当日は市民・観光客など延べ約6万人の来場を数え、盛大に開催することができた。

参加神輿 31体



会場風景



飲食ブース



愛の葉ガールズ



ゆるキャラ



水軍太鼓



野球サンバ(MOGA)



琉球国祭り太鼓



大可賀獅子舞×鼓組



牛鬼



太鼓台



パフォーマンス



パフォーマンス2

(4) 観光キャンペーン事業

① 松山 DAY in 神宮球場 観光キャンペーン

期 日 平成 25 年 5 月 28 日 (火)

場 所 神宮球場

内 容 「東京ヤクルトスワローズ VS オリックスバファローズ」

- ・カラービジョンによる PR (試合開始前、3 回裏終了、4 回表終了、7 回表終了)
- ・のぼりの設置、横断幕の掲示、観光ポスターの掲示、ラッキープレゼントの実施、両軍選手代表への花束・記念品贈呈、球団への記念品贈呈、選手への差し入れ、松山市長による始球式、観光パンフレット等ノベルティの配布 (1,000 名) を実施した。



(記念品贈呈)



(セレモニー)



(先着プレゼント)



(電光掲示板)

② 台湾・台北市観光キャンペーン

期 日 平成 25 年 10 月 10 日 (木) ~ 14 日 (月)

場 所 新北投温泉駅前広場

内 容 2013 台北温泉まつりおよび松山慈祐宮における道後温泉幸福からくり時計の贈呈式に参加。

今年、「台北松山空港」～「愛媛松山空港」への夢の懸け橋実現となり、チャーター便が就航したため、例年どおり「台北温泉まつり」へブースを出展し松山の観光 PR とチャリティ事業として物産販売を実施したほか、松山慈祐宮において「道後温泉幸福からくり時計」贈呈式に参加し、松山の伝統芸能である獅子舞「大可賀獅子舞×鼓組」の演舞を実施した。

また、昨年、道後温泉旅館協同組合から台北市政府および北投温泉へ寄贈された子供神輿のパレードを実施し、台湾からの誘客促進ならびに松山市と台湾・台北市との友好交流拡大を図った。



(台北松山空港式典)



(松山慈祐宮奉納の舞)



(セレモニー)



(松山慈祐宮前)



(道後温泉幸福からくり時計)



(観光ブース)



(大可賀獅子舞×鼓組)



(子供神輿パレード)

(5) 物産と観光展事業

① 松山愛郷会物産展

期 日	平成 25 年 10 月 17 日(木)
場 所	東京都 (都市センターホテル)
内 容	愛郷会会員に対して物産品の預かり販売

② 松山の物産と観光展 (大阪府)

期 日	平成 25 年 11 月 26 日(火)~28 日 (木)
場 所	大阪府 (愛媛県大阪事務所)
内 容	松山の特産品 (食料品・菓子・海産物等) をはじめ、目玉商品として「紅まどんな」や「温州みかん」を特別価格で販売した。また、じゃこ天の実演による即売を行い、できたての食品を提供するなど、広く松山の味を発信した。



(紅まどんなの販売)



(じゃこ天の実演)



(会場内の様子)



(会場内の様子2)

③ 松山の物産と観光展（札幌）

期 日 平成26年2月20日(木)～2月26日(水)

場 所 札幌市（さっぽろ東急百貨店）

内 容 表敬訪問（札幌市、札幌市市政記者クラブ）

訪問宣伝（札幌市内の旅行会社6社）

新聞・雑誌等による宣伝、テレビスポットによる宣伝、テレビ出演による宣伝

全39業者、約500品目の展示、実演即売、茶屋の開設

今年は、節目となる15回目、また東急百貨店が創業80周年という記念すべき年であり、特別イベントや限定商品を用意し、賑わいづくりに努めた。会期中は各出展業者も特別限定商品や限定日替わり商品を多数用意したほか、初出展業者も3社参加するなど新しい取り組みによる物産展が開催できた。

観光部門としては、本市が「道後温泉本館改築120周年」、「四国八十八ヶ所霊場開創1200年」、「瀬戸内海国立公園指定80年」という3つの記念が重なる年であることから、これらをテーマにしたパネル展示を実施したほか、道後温泉本館の模型も展示した。



(表敬訪問)



(開展式)



(道後温泉本館模型)



(お砂撫で)



(街頭宣伝)



(坊っちゃん団子作り体験)



(会場内)



(会場内2)

(6) パンフレット等の作成頒布事業

- ① 指差観光案内パンフレット（英語、繁体字版） 各 5,000 枚
- ② 指差観光案内パンフレット（韓国語、簡体字版） 各 3,000 枚
- ③ 松山城 500 冊
- ④ 瀬戸のまつやま「海ごはん」MAP 10,000 枚



(7) 案内所運営事業

- ① 松山城東雲口駅舎 1 階案内所
- ② 道後観光案内所（委託業務）
- ③ JR 松山駅松山市観光案内所（委託業務）
- ④ 松山観光港ターミナル観光案内所（委託業務）

観光案内業務	件数	60,838 件
松山観光レンタサイクル事業(道後観光案内所)	件数	1,224 件
松山観光レンタサイクル事業(松山城東雲口駅舎 1 階)	件数	724 件

(8) 松山観光ボランティアガイド事業



① ボランティア活動報告

	道後周辺	松山城	坂の上の雲ミュージアム周辺
1. 案内コース	道後周辺	松山城	坂の上の雲ミュージアム周辺
2. 案内日	毎日（年末年始除く）	毎日（年末年始除く）	土日祝（年末年始除く）
3. 案内時間	9:00～12:00	9:00～12:00	9:30～12:30
	13:30～16:00（土日祝のみ）	13:00～16:00	13:00～16:00
4. ガイド人数	平日 2名	1日 4名	平日 2名
	土日祝 4名	土日祝 10名	土日祝 6名
5. 登録人数	173名		
6. 案内件数	1,763 件	4,132 件	2,436 件
7. 案内人員	5,590 人	16,752 人	5,389 人

② ボランティア募集事業

ふるさとふれあい塾 ～松山観光文化コンシェルジュ講座～

主 催 松山商工会議所・松山大学・(社)愛媛県観光物産協会・松山市
(公財)松山観光コンベンション協会

開講期間 平成 25 年 9 月 25 日(水)～平成 25 年 12 月 18 日(水) (全 15 回)

場 所 松山大学 (松山市文京町 4-2)

受講者 一般 93名・大学生 64名 計 157名

2. コンベンション事業（公益目的事業2）

（1）誘致促進事業

① 誘致セールス活動の実施

松山市において開催可能性のあるコンベンションの主催者を対象に、県外では主に東京方面への誘致宣伝活動を実施した。

また、誘致活動経験及び実績のある職員を受け入れ、松山市内外にある地元主催者への誘致宣伝活動を積極的に実施した。（詳細は別紙資料3参照）

首都圏： 175団体

県内： 93団体

② 第23回国際ミーティング・エキスポ（IME2013の参加（出展））

会期 平成25年12月10日（火）～11日（水）

会場 東京国際フォーラム（東京都有楽町）

主催 観光庁、日本政府観光局（JNTO）

日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー（JCCB）

概要 コンベンション主催者とコンベンション受入側（都市・コンベンションビューロー等関係団体）が一堂に会し、コンベンション開催に関する情報や商談を行う、我が国唯一のコンベンション・トレードショーで、出展者数は135団体、入場者数は約3,300人だった。

昨年に引き続き、高松、徳島と協同でブース設営をし、インパクトのある写真をバックパネルに取り入れ、「四国」を全面に押し出した中、松山ブースについては、コンベンション支援パンフレットや主要コンベンション施設ガイドの他、松山市を中心とした愛媛県内の観光パンフレットを配布するとともに、DVD映像で主催者により一層松山をPRした。

また、松山銘菓「タルト」・「坊っちゃん団子」・「坂の上の雲」や愛媛の地酒の他、愛媛県産の柑橘を使用した5種類のジュースの展示配布を行い、来場者の注目を集めるとともにコンベンション誘致活動を積極的に行った。



（開会式）



（ブース風景）



（商談風景）

③ 誘致懇談会の開催

ア 中国・四国地区コンベンション推進協議会事業

中国・四国地区のコンベンション推進機関14団体で構成する協議会であり、相互に交流し、事業の円滑な遂行を図ることを目的とし、年に1度、東京で誘致懇談会を開催した。

・中国・四国地区コンベンション推進協議会総会の開催

開催日 平成 25 年 7 月 4 日（木）～5 日（金）

会 場 新溪園（倉敷）

出席者 14 団体 32 名

・第 19 回中国・四国地区コンベンション誘致懇談会の開催

開催日 平成 26 年 2 月 13 日（木）

会 場 ANA インターコンチネンタルホテル東京

東京都港区赤坂 1-12-33

主 催 中国・四国地区コンベンション推進協議会

概 要 コンベンション主催者約 150 名と中国・四国地区コンベンション推進協議会関係者約 70 名の合計 220 名が一堂に会し、コンベンションに関する情報の交換を行い、中国・四国地区でのコンベンション開催を積極的に働きかける等、盛会のうちに終了した。



(ブース)



(商談風景)



(会場内様子)

イ 地元誘致懇談会

開催日 平成 26 年 3 月 25 日（火）

会 場 第一部：松山市立子規記念博物館 第二部：松山城本丸広場

概 要 地域活性化の切り札としての MICE セミナーの実施、合わせて大学関係、企業、行政のコンベンション主催者を招待し、各分野の専門知識を有する賛助会員との間で、ビジネスチャンスの場を提供する為に開催。地元でも学会、大会の企画、運営をサポートできることを PR し、コンベンション主催者と賛助会員が直接面談できる場を設定することで賛助会員にもメリットを提供した。今回は、当協会がコンベンション主催者に提案している「松山城ライトアップ交流会プラン」を、初めて、松山城本丸広場にて開催した。

セミナー 「2000 万人の高みを目指して—今後のインバウンド政策と地域活性化—」

講師 日本政府観光局（JNTO） 理事 加藤 隆司 氏



(セミナー)



(交流会会場)



(アトラクション披露)

④ 海外からの誘致促進事業

ア 韓国インバウンド事業

日時 平成 25 年 6 月 26 日（水）～6 月 28 日（金）

内容 **Coex Convention and Exhibition Center** において開催の KOREA MICE EXPO へ、広島、下関、山口と合同でブースを出展しインバウンド誘致を図ったほか、コリアホテルにおいて韓国旅行者を対象に「西瀬戸内周遊」の観光PRとセミナーを開催した。



ブース



商談風景



セミナー

イ 台湾招聘事業

・台湾台北市政府招聘

日時 平成 25 年 8 月 3 日（土）～8 月 6 日（火）

内容 台北市郝龍斌市長、立法院李鴻鈞委員をはじめ、交通部台湾鐵路管理局、台北駐日經濟文化代表處、台北市政府観光傳播局、中華航空ほかマスコミを含めた 46 名を招聘し、知事、市長、経済界等関係者との交流会を実施したほか、「松山・道後温泉幸福からくり時計」贈呈式を実施した。また愛媛県庁、松山市役所を表敬訪問し、知事・市長との記者会見を実施し、10月のチャーター便就航を発表。視察として、松山港まつり三津浜花火大会を見学するとともに松山市内およびしまなみ海道を観光した。



レセプション



市長表敬



記者発表



贈呈式



贈呈式 2



花火大会



視察



空港

・台湾旅番組ロケ招聘事業

日時 平成25年9月10日(火)～18日(水)

内容 台湾において絶大な人気を誇る陳美鳳さんの旅番組「美鳳有約」を、愛媛県と共同で招聘。松山城、道後温泉をはじめとした松山市内の観光とグルメ、またしまなみ海道のサイクリングや内子・大洲の魅力をアピールし、番組を作成していただいた。番組は台湾において、平成25年10月3日、4日、10日、11日の4回に分けて放送された。また、滞在中、16万人の閲覧者がいる美鳳さんのfacebook上において随時情報を掲載していただき、連日、約1万件の「いいね」を獲得し、松山の魅力発信に努めた。



(五色そうめん)



(水口酒造)



(石手寺)



(みかん狩り)



(砥部焼)



(内子座)



(紙漉き)



(お抹茶体験)



(鵜飼い)



(坊っちゃん列車)



(松山城)



(藍染体験)



(道後温泉本館)



(しまなみ海道)



(潮流体験)



(タオル美術館)

(2) 開催支援事業

① 開催助成金制度

愛媛県内へのコンベンション誘致を推進し、コンベンション振興を図るため、県内で開催されるコンベンションに対し、交付した。

交付件数 41件(平成24年度:39件)

交付総額 15,590,000円(平成24年度:14,220,000円)

(詳細は別紙資料4参照)

② 歓迎用看板等の掲出

国際会議および全国規模（参加者1,000人以上が原則条件）のコンベンションを対象に、松山空港ビルに看板・パネルを掲出表示。歓迎の意を表することで、参加者に対し当地の良いイメージを持っていただき、来松のリピーター効果を上げるために実施した。

掲出実績 松山空港ビル 8件（詳細は別紙資料4参照）

③ 支援グッズの作成

- ・「松山シティガイド」（ようおいでたなもし）の発行

アフターコンベンション用ブックとして、食べ飲み歩きMAPと文化観光施設等割引入場券を一緒にした形で発行。コンベンション参加者に提供した。

発行部数 20,000部

- ・ナイロン製アームバッグの作成

コンベンション参加者の支援用として作成配布した。

作成枚数 50,000部

④ サポートスタッフの派遣、育成

コンベンションボランティア（会議時における受付・クローク、通訳等）をコンベンション開催時に派遣するとともに、地元誘致懇談会の第一部をコンベンションボランティアの研修の機会とし、育成を行った。

<派遣実績>

- ・年間4件（延べ人数54人）

⑤ その他

- ・コンベンションガイド松山の提供

誘致用パンフレットとして、コンベンション主催者に提供した。

提供部数 約 500部

（3）調査・研究事業

① 経済波及効果調査

- ・平成24年度コンベンション統計の作成

平成24年度に県内で開催されたコンベンションの件数・人数また経済波及効果の調査結果をまとめた資料を作成した。

（概要） コンベンション客 1,235,300人（平成23年度：1,139,344人）
推定消費額 81億円（平成23年度：72億円）

② コンベンション調査

- ア 平成25年度コンベンションカレンダーの発行

平成25年度に県内で開催されるコンベンションを記載したもので、賛助会員並びに大学関係者等に配布した。（発行部数：2,000部）

イ アンケート調査の実施

コンベンション参加者を対象に、参加地区・利用交通機関・訪問観光地・宿泊ほか参加経費等について調査を行い、経済波及効果測定等の基礎資料とした。

ウ コンベンションビューロー部会

JCCB会員（7部会116会員）のうち、コンベンションビューローの会員（67団体）で組織する部会において、コンベンションの振興を図る上での課題等を検討、協議する会。

・第1回コンベンションビューロー部会出席

開催日 平成25年5月16日（木）～5月17日（金）

会場 長野市

出席者 45団体64名

・第2回コンベンションビューロー部会出席

開催日 平成25年10月24日（木）～10月25日（金）

会場 岡山市

出席者 49団体74名

エ 平成25年度JCCB総会

開催日 平成25年6月17日（月）

会場 京王プラザホテル

オ 四国地区観光コンベンション推進団体情報交換会出席

四国地区のコンベンション推進5団体（高松、徳島、鳴門、高知、松山）で構成し、「四国」として共同誘致や事業等を推進していくための会

<第1回>

開催日 平成25年6月14日（金）

会場 高知市

<第2回>

開催日 平成26年2月25日（火）

会場 松山市

③ 管理システムの運用

コンベンションの誘致・支援活動の状況や、キーパーソンに関する情報等を管理し、効率的な誘致・支援につなげるためのシステム運用

・支援を行った大会等

支援件数 146件（平成24年度：152件）

資料配付数 56, 420部（平成24年度：52, 806部）

（詳細は別紙資料4参照）

Ⅲ. 収益事業報告

1. 広告料収入事業

(1) 松山城ロープウェイ駅舎3階壁面広告

広告期間 平成25年4月1日～平成26年3月31日
広告掲載業者 10業者

(2) 物産陳列ケース広告

展示期間 平成25年4月1日～平成26年3月31日
展示業者 22業者

(3) 松山城ロープウェイ・ゴンドラ内広告

広告期間 平成25年4月1日～平成26年3月31日
広告掲載業者 8業者

(4) (公財) 松山観光コンベンション協会ホームページバナー広告

広告期間 平成25年4月1日～平成26年3月31日
広告掲載業者 11業者(うち、1業者は4月～9月まで掲載)

(5) 松山特産品ホームページショッピングサイト

ホームページ掲載企業 20社 出品数 52品 注文件数 7件

2. 手数料収入事業

(1) 案内所での記念グッズ販売による手数料

佐川印刷(株)絵はがき・一筆箋・メモ帳販売	販売数	127 冊
佐川印刷(株)自動販売機(絵はがき・ガチャポン)販売	販売数	804 個
愛媛新聞サービスセンター書籍販売	販売数	4 冊
(株)エス・ピー・シー書籍販売	販売数	21 冊
(株)エーシー松山オリジナルグッズ販売	販売数	869 個
松山はいくチケット販売	販売数	59 枚

(2) 自動販売機での飲料販売による手数料

設置業者 大塚製薬(株)・四国乳業(株)・四国コカ・コーラボトリング(株)
売上本数 23,657本

(3) 松山城メダル販売による手数料

メダル等販売数 9,549個
刻印機利用数 2,885回

3. 販売収入事業

(1) 名刺台紙販売

販売数 366個

(2) 図書販売

販売数 2,516冊

(3) ハンドタオル販売

道後温泉足湯タオル販売数 754枚
松山城ハンドタオル販売数 26枚

(4) オリジナルグッズ販売

記念バッジ販売数 98個
紙袋販売数 3,373枚
オリジナルキャップ販売数 2個
オリジナルボールペン 61本

IV. その他管理事業等

1. 機関紙作成

年2回各4,000部を発行し、全国のコンベンション推進団体及び賛助会員に配布した。

2. ホームページ及び電子パンフレット運營業務

[参考] ユーザー訪問(ページビュー)数 約 884,964件(平成24年度:720,437件)

3. 新規会員の確保

新規加入 35件
会 員 411件(3月31日現在)

4. 会議開催

理事会・評議員会の開催を随時行うほか、各専門委員会(企画開発委員会・誘客促進委員会・観光物産振興委員会)を必要に応じ適宜開催した。

(1) 理事会

内容については別紙資料1

- | | | |
|----|---|---------------|
| ①期 | 日 | 平成25年5月14日(火) |
| 場 | 所 | ホテルJALシティ松山 |
| ②期 | 日 | 平成25年6月21日(金) |
| | | ※ 書面評決 |
| ③期 | 日 | 平成26年3月26日(水) |
| 場 | 所 | 松山全日空ホテル |

(2) 評議員会

内容については別紙資料1

- | | | |
|----|---|---------------|
| ①期 | 日 | 平成25年4月1日(月) |
| | | ※ 書面表決 |
| ②期 | 日 | 平成25年6月4日(火) |
| 場 | 所 | 国際ホテル松山 |
| ③期 | 日 | 平成25年6月25日(火) |
| | | ※ 書面表決 |

(3) 各専門委員会

内容については別紙資料2

①観光物産振興委員会

期 日 平成 25 年 9 月 13 日 (金)

場 所 KH 三番町プレイス 3階 第1会議室

②誘客促進委員会

期 日 平成 25 年 9 月 10 日 (火)

場 所 NBF 松山日銀前ビル 4階 第1会議室

③企画開発委員会

期 日 平成 25 年 9 月 12 日 (木)

場 所 KH 三番町プレイス 3階 第1会議室

5. 共催・協賛事業

(1) 第43回奥道後皐月展

期 日 平成 25 年 5 月 18 日 (土) ~6 月 9 日 (日)

主 催 愛媛皐月協会

(2) 第63回松山港まつり・三津浜花火大会

期 日 平成 25 年 8 月 4 日 (日)

主 催 松山港まつり振興会

(3) いもたき事業 (共催事業)

・出合橋下河川敷

期 日 平成 25 年 9 月 7 日 (土) ~10 月 14 日 (月)

主 催 観光松山いも炊き会

参加者 7,464 名

(4) 「松山を楽しもうキャンペーン~城山公園オータムフェスティバル 2013」 (共催事業)

期 日 平成 25 年 9 月 ~11 月

主 催 城山公園オータムフェスティバル 2013 実行委員会

(5) 第45回奥道後大菊花展

期 日 平成 25 年 10 月 26 日 (土) ~11 月 24 日 (日)

主 催 西日本菊花芸術協会

(6) 松山城「お正月」イベント (共催事業)

期 日 平成 26 年 1 月 1 日 (水)

主 催 松山市、伊予鉄道 (株) 松山城総合事務所

(7) 第52回愛媛マラソン

期 日 平成26年2月8日(土)～9日(日)
主 催 愛媛陸上競技協会、南海放送、愛媛新聞社、松山市

(8) 愛媛調理製菓専門学校「料理作品展2014」(協賛事業)

期 日 平成26年2月11日(火・祝)
主 催 愛媛調理製菓専門学校

(9) 第8回まつやま農林水産まつり(協賛事業)

期 日 平成26年2月15日(土)～16日(日)
主 催 まつやま農林水産まつり実行委員会

(10) 坊っちゃんカップ・第7回道後温泉卓球大会(共催事業)

期 日 平成26年2月25日(火)～27日(木)
主 催 公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団

貸借対照表

平成26年3月31日現在

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	39,242,823	46,259,583	△ 7,016,760
未 収 金	43,227,284	40,919,082	2,308,202
過 払 金 返 金	32,392	0	32,392
流動資産合計	82,502,499	87,178,665	△ 4,676,166
2. 固定資産			0
(1) 基本財産			0
基 財 ・ 預 金 債 権	321,000,000	321,000,000	0
投 資 有 価 証 券	200,000,000	200,000,000	0
基本財産合計	521,000,000	521,000,000	0
(2) 特定資産			0
退 職 給 与 引 当 預 金	3,553,761	3,553,761	0
特定資産合計	3,553,761	3,553,761	0
(3) その他固定資産			0
電 話 加 入 権	149,968	149,968	0
什 器 備 品	53,627	71,502	△ 17,875
その他固定資産合計	203,595	221,470	△ 17,875
固定資産合計	524,757,356	524,775,231	△ 17,875
資産合計	607,259,855	611,953,896	△ 4,694,041
II 負債の部			0
1. 流動負債			0
未 払 金	52,688,807	49,532,891	3,155,916
流動負債合計	52,688,807	49,532,891	3,155,916
2. 固定負債			0
退 職 給 付 引 当 金	27,807,601	24,916,503	2,891,098
固定負債合計	27,807,601	24,916,503	2,891,098
負債合計	80,496,408	74,449,394	6,047,014
III 正味財産の部			0
1. 基金	0	0	0
基金	0	0	0
2. 指定正味財産			0
指定正味財産合計	0	0	0
3. 一般正味財産			0
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他一般正味財産	526,763,447	537,504,502	△ 10,741,055
一般正味財産合計	526,763,447	537,504,502	△ 10,741,055
正味財産合計	526,763,447	537,504,502	△ 10,741,055
負債及び正味財産合計	607,259,855	611,953,896	△ 4,694,041

正味財産増減計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,223,500	1,203,816	19,684
基本財産利息収入	1,223,500	1,203,816	19,684
特定資産運用益	0	0	0
特定資産運用収入	0	0	0
受取入会金	0	0	0
受取入会金収入	0	0	0
受取会費	12,415,000	12,300,000	115,000
賛助会員会費収入	12,415,000	12,300,000	115,000
事業収益	7,861,792	8,530,894	△ 669,102
広告料収入	1,529,800	1,872,800	△ 343,000
手数料収入	1,819,246	1,847,629	△ 28,383
販売収入	1,557,703	1,757,581	△ 199,878
観光PR事業収入	694,600	485,800	208,800
物産と観光展手数料収入	2,260,443	2,567,084	△ 306,641
受取補助金等	165,220,000	151,413,000	13,807,000
市補助金等収入	165,220,000	151,413,000	13,807,000
受取負担金	1,000,000	1,000,000	0
負担金収入	1,000,000	1,000,000	0
受取寄付金	0	0	0
受取寄付金収入	0	0	0
雑収益	229,752	222,367	7,385
受取利息	14,994	13,604	1,390
雇用保険料預り金	214,758	208,763	5,995
経常収益計	187,950,044	174,670,077	13,279,967
(2) 経常費用			0
事業費	168,345,368	158,917,939	9,427,429
報酬	593,022	591,531	1,491
給料手当	27,181,462	23,492,815	3,688,647
退職給付費用	504,815	15,528,912	△ 15,024,097
福利厚生費	8,228,827	8,117,675	111,152
臨時雇賃金	3,685,074	4,082,804	△ 397,730
会議費	3,965,333	2,973,558	991,775
旅費交通費	16,938,340	12,022,106	4,916,234
通信運搬費	7,785,200	7,399,580	385,620

什器備品減価償却費	17,875	23,834	△ 5,959
消耗品費	13,079,866	12,196,701	883,165
印刷製本費	6,643,105	5,857,575	785,530
諸謝金	8,255,617	7,089,220	1,166,397
報償費	600,000	600,000	0
委託費	30,825,170	20,046,333	10,778,837
負担金支出	1,296,815	1,796,986	△ 500,171
広告宣伝費	7,178,675	9,869,645	△ 2,690,970
賃借料	6,242,326	3,858,967	2,383,359
修繕費	206,825	129,990	76,835
保険料	375,680	258,360	117,320
燃料費	0	0	0
光熱水料費	65,264	61,644	3,620
助成金支出	24,403,800	22,732,000	1,671,800
調査研究費	0	0	0
雑費	272,277	187,703	84,574
管理費	30,345,731	32,573,743	△ 2,228,012
役員報酬	3,612,788	3,603,707	9,081
給料手当	13,334,285	12,940,775	393,510
福利厚生費	3,408,942	3,350,033	58,909
臨時雇賃金	0	0	0
退職給付費用	2,386,283	5,833,830	△ 3,447,547
会議費	159,628	149,198	10,430
旅費交通費	0	0	0
交際費	10,000	0	10,000
通信運搬費	1,684,179	1,648,014	36,165
消耗品費	1,743,882	1,677,072	66,810
印刷製本費	499,800	518,700	△ 18,900
諸謝金	0	0	0
委託費	651,945	651,735	210
負担金支出	608,450	543,100	65,350
賃借料	985,618	942,118	43,500
修繕費	147,735	72,593	75,142
保険料	57,540	55,940	1,600
燃料費	171,110	66,989	104,121
光熱水料費	555,646	475,739	79,907
租税公課	327,900	43,900	284,000
減価償却費	0	0	0
支払寄付金	0	0	0
支払利息	0	0	0
有価証券運用損	0	0	0
雑費(予備費含まない)	0	300	△ 300

経常費用計	198,691,099	191,491,682	7,199,417
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 10,741,055	△ 16,821,605	6,080,550
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 10,741,055	△ 16,821,605	6,080,550
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
雑収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
退職給付費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 10,741,055	△ 16,821,605	6,080,550
一般正味財産期首残高	537,504,502	554,326,107	△ 16,821,605
一般正味財産期末残高	526,763,447	537,504,502	△ 10,741,055
Ⅱ 指定正味財産増減の部			0
受取補助金等	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	526,763,447	537,504,502	△ 10,741,055

平成25年度正味財産増減計算書(内訳表)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引 控除	合計
	公1 (観光・物産)	公2 (コンベンション)	共通	小計	収1(販売等)	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益	0	0	1,223,500	1,223,500	0	0	0	0	0	1,223,500
基本財産利息収入			1,223,500	1,223,500			0			1,223,500
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産運用収入				0			0			0
受取入会金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取入会金収入				0			0			0
受取会費	0	0	12,415,000	12,415,000	0	0	0	0	0	12,415,000
賛助会員会費収入			12,415,000	12,415,000			0			12,415,000
事業収益	2,955,043	404,640	0	3,359,683	4,502,109	0	4,502,109	0	0	7,861,792
広告料収入				0	1,529,800		1,529,800			1,529,800
手数料収入				0	1,819,246		1,819,246			1,819,246
販売収入		404,640		404,640	1,153,063		1,153,063			1,557,703
観光PR事業収入	694,600			694,600			0			694,600
物産と観光展手数料収入	2,260,443			2,260,443			0			2,260,443
受取補助金等	97,149,360	40,478,900	0	137,628,260	0	0	0	27,591,740	0	165,220,000
市補助金等収入	97,149,360	40,478,900		137,628,260			0	27,591,740		165,220,000
受取負担金	0	0	1,000,000	1,000,000	0	0	0	0	0	1,000,000
負担金収入			1,000,000	1,000,000			0			1,000,000
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金収入				0			0			0
雑収益	0	0	14,994	14,994	0	0	0	214,758	0	229,752
受取利息			14,994	14,994			0			14,994
雇用保険料預り金				0			0	214,758		214,758
経常収益計	100,104,403	40,883,540	14,653,494	155,641,437	4,502,109	0	4,502,109	27,806,498	0	187,950,044
(2) 経常費用										
事業費	103,959,069	55,698,962	4,582,100	164,240,131	4,105,237	0	4,105,237		0	168,345,368
報酬			593,022	593,022			0			593,022
給料手当	12,489,229	12,812,242	1,879,991	27,181,462			0			27,181,462
退職給付費用	△ 1,612,069	2,116,884		504,815			0			504,815
福利厚生費	2,892,346	2,958,268	2,109,087	7,959,701	269,126		269,126			8,228,827
臨時雇賃金	1,161,376			1,161,376	2,523,698		2,523,698			3,685,074
会議費	512,120	3,453,213		3,965,333			0			3,965,333
旅費交通費	9,079,940	7,858,400		16,938,340			0			16,938,340
通信運搬費	7,321,116	464,084		7,785,200			0			7,785,200
什器備品減価償却費				0	17,875		17,875			17,875
消耗品費	7,545,862	4,880,616		12,426,478	653,388		653,388			13,079,866
印刷製本費	4,275,880	2,225,475		6,501,355	141,750		141,750			6,643,105
諸謝金	7,174,456	1,081,161		8,255,617			0			8,255,617
報償費	600,000			600,000			0			600,000
委託費	29,776,150	1,049,020		30,825,170			0			30,825,170
負担金支出	245,000	1,051,815		1,296,815			0			1,296,815
広告宣伝費	7,178,675			7,178,675			0			7,178,675
賃借料	5,731,990	76,200		5,808,190	434,136		434,136			6,242,326
修繕費	206,825			206,825			0			206,825
保険料	354,520	21,160		375,680			0			375,680
燃料費				0			0			0
光熱水料費	0			0	65,264		65,264			65,264
助成金支出	8,813,800	15,590,000		24,403,800			0			24,403,800
調査研究費	0			0			0			0
雑費	211,853	60,424		272,277			0			272,277

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引 控除	合計
	公1 (観光・物産)	公2 (コンベンション)	共通	小計	収1(販売等)	共通	小計			
管理費								30,345,731	0	30,345,731
役員報酬								3,612,788		3,612,788
給料手当								13,334,285		13,334,285
福利厚生費								3,408,942		3,408,942
臨時雇賃金								0		0
退職給付費用								2,386,283		2,386,283
会議費								159,628		159,628
旅費交通費								0		0
交際費								10,000		10,000
通信運搬費								1,684,179		1,684,179
消耗品費								1,743,882		1,743,882
印刷製本費								499,800		499,800
諸謝金								0		0
委託費								651,945		651,945
負担金支出								608,450		608,450
賃借料								985,618		985,618
修繕費								147,735		147,735
保険料								57,540		57,540
燃料費								171,110		171,110
光熱水料費								555,646		555,646
租税公課								327,900		327,900
減価償却費								0		0
支払寄付金								0		0
支払利息								0		0
有価証券運用損								0		0
雑費(予備費含まない)								0		0
経常費用計	103,959,069	55,698,962	4,582,100	164,240,131	4,105,237	0	4,105,237	30,345,731	0	198,691,099
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,854,666	△ 14,815,422	10,071,394	△ 8,598,694	396,872	0	396,872	△ 2,539,233	0	△ 10,741,055
基本財産評価損益等				0			0			0
特定資産評価損益等				0			0			0
投資有価証券評価損益等				0			0			0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 3,854,666	△ 14,815,422	10,071,394	△ 8,598,694	396,872	0	396,872	△ 2,539,233	0	△ 10,741,055
2. 経常外増減の部							0			
(1) 経常外収益							0			
雑収益				0			0			0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							0			
退職給付費用				0			0			0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0		0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額			0	0			0			0
当期一般正味財産増減額	△ 3,854,666	△ 14,815,422	10,071,394	△ 8,598,694	396,872	0	396,872	△ 2,539,233	0	△ 10,741,055
一般正味財産期首残高	△ 10,871,525	△ 5,599,502	546,815,298	530,344,271	2,552,464	△ 268,939	2,283,525	4,876,706		537,504,502
一般正味財産期末残高	△ 14,726,191	△ 20,414,924	556,886,692	521,745,577	2,949,336	△ 268,939	2,680,397	2,337,473	0	526,763,447
II 指定正味財産増減の部							0			
受取補助金等				0			0			0
一般正味財産への振替額				0			0			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高				0			0			0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	△ 14,726,191	△ 20,414,924	556,886,692	521,745,577	2,949,336	△ 268,939	2,680,397	2,337,473	0	526,763,447

財産目録

平成26年 3月31日現在

一般会計

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金	手元保管	つり銭準備金として	130,000
	預金	普通預金	運転資金として	39,112,823
		普通(伊予銀行)		14,564,361
		普通(愛媛銀行)		12,977,930
		普通(愛媛信用金庫)		8,143,136
		普通(県信漁)		466,597
		普通(県信連)		814,515
		普通(預り金)		398,639
		普通(書籍)		429,620
		普通(グッズ精算)		91,936
		普通(メダル)		1,103,351
		普通(物産)		122,738
		未収金		43,227,284
	会費収入		30,000	
	販売収入		157,014	
	手数料収入		43,530	
	物産収入		42,985,740	
	広告料収入		11,000	
	過払金返金		32,392	
流動資産合計				82,502,499
(固定資産)				
基本財産				
	基財・預金債権		公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	321,000,000
	定期(伊予銀行)			10,000,000
	定期(愛媛銀行)			100,000,000
	定期(愛媛信用金庫)			56,000,000
	定期(県信漁)			10,000,000
	定期(伊予銀行)			145,000,000
特定資産				
	投資有価証券			200,000,000
	有価(伊予銀行)			200,000,000
その他固定資産				
	退職給与引当預金			3,553,761
	伊予銀行(普通)			3,553,761
	電話加入権		公益目的事業に必要な収益事業等その他の業務又は活動の用に供する財産であり、管理運営の用に供している。	149,968
	什器備品		公益目的事業に必要な収益事業等その他の業務又は活動の用に供する財産であり、収益事業の用に供している。	53,627
	収益目的保有財産	松山城ロープウェイ駅舎3階	物産陳列ケース	53,627
固定資産合計				524,757,356
資産合計				607,259,855
(流動負債)				
	未払金			52,688,807
	未払金			52,688,807
流動負債合計				52,688,807
(固定負債)				
	退職給付引当金			27,807,601
固定負債合計				27,807,601
負債合計				80,496,408
正味財産				526,763,447

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・購入時の取得価額によっている。なお、取得価額と債券金額との差額について重要性が乏しいため、償却原価法は採用していない。

(2) 固定資産の減価償却の方法

什器備品について、定率法の直接法により減価償却を行っている。(償却率:0.25)

(3) リース取引の処理方法について

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の自己都合用支給額に相当する金額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基材・預金債権	321,000,000	0	0	321,000,000
投資有価証券	200,000,000	0	0	200,000,000
小計	521,000,000	0	0	521,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	3,553,761	0	0	3,553,761
小計	3,553,761	0	0	3,553,761
合計	524,553,761	0	0	524,553,761

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
基材・預金債権	321,000,000	0	(321,000,000)	(ー)
投資有価証券	200,000,000	0	(200,000,000)	(ー)
小計	521,000,000	0	(521,000,000)	(ー)
特定資産				
退職給付引当資産	3,553,761	0	0	(3,553,761)
小計	3,553,761	0	0	(3,553,761)
合計	524,553,761	0	(521,000,000)	(3,553,761)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位:円)

什器備品	取得価額	当期償却額	減価償却累計額	当期末残高
電話加入権	149,968	0	0	149,968
什器備品	547,050	17,875	493,423	53,627
合計	697,018	17,875	493,423	203,595

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
国債	200,000,000	201,620,000	1,620,000

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
運営補助金	松山市	0	165,220,000	165,220,000	0	一般正味財産

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載しているため、省略する。

2. 引当金の明細

財務諸表の注記に記載しているため、省略する。